

東京データプラットフォーム協議会
第2回施設系データ集約ワーキンググループ（WG）
令和3年10月20日（水）

18時00分～18時45分

アジェンダ

1. 前回WGの振り返り
2. 進捗報告
 - データフォーマット検討方針
 - データ収集施設の調整状況
3. データフォーマット案
 - 京王プラザホテルのトイレデータ収集の結果報告
 - データ項目検討事項とフォーマット案
4. 意見交換（データ項目／フォーマット案等）
5. アイデアソン開催について、今後の予定

議事概要

1. 第1回WGの振り返り
 - (1). 施設系データ集約WG概要（事務局）
 - ア. 官民に散在する施設データを集約し、利活用を促す取組を通じて、あらゆる都民、来訪者がまちで快適に過ごせるサービスの提供を後押しすることを目指す
 - イ. 今年度は西新宿エリアトイレ施設データの集約、将来はTDPFがデータ提供者と利用者の中に立って、データ提供条件等に応じた提供先のコントロールや付加価値データの掛け合わせを行える役割を果たしていくことを想定
 - ウ. 7月のキックオフでは活動方針の共有、意見交換を実施
 - (2). 第1回WGにていただいた意見（事務局）
 - ア. 西新宿におけるデータのニーズ、インセンティブ設計、視認性と情報量のバランスを取るなどデータ整備に向けた課題、さらにワーキングへの期待等について議論を実施
 - イ. アンケートでは整備すべき情報の項目、トイレ以外で集めたいデータ等を含めたデータフォーマットに関する意見をいただいた
2. 進捗報告
 - (1). データフォーマットの検討方針（事務局）
 - ア. 国の推奨フォーマットと東京都福祉保健局のフォーマットをベースにトイレの機能分散の流れ、現地調査で判明したことを加味し、TDPFのトイレフォーマットを

検討

- イ. 民間施設のデータの新規取得、自治体施設の既存データの取り込みをスムーズに行えるフォーマットをつくり、将来はこれらのデータの連携により統一フォーマットの下で東京都内のトイレデータを一括提供することを目指す
- ウ. 商業施設、ホテル等、一般来訪者の多い施設から優先的にデータを収集
 - (ア)複数施設で既に情報収集の御了承いただくなど調整中

(2).参加者からのコメント（参加団体A）

- ア. 西新宿のホテルと商業施設の方々、この地図に記載のビルの方々と調整をした
- イ. 商業施設の利用者、ホテルや観光客の利用者から問合せがあるなど、トイレ情報の必要性について生の声を聞くことができた

3.データフォーマット案

(1).京王プラザホテルのトイレデータ収集の結果報告（事務局）

- ア. 京王プラザホテルは古くからバリアフリーの取組を実施しており、最初のデータ取得の対象施設として協力いただいた
- イ. 2階のレストランエリアと3階のロビー周辺のトイレを見学
 - (ア)政府CIO、福祉保健局のフォーマットのデータ項目でカバー

(2).データ項目検討事項とフォーマット案（事務局）

- ア. データ取得・更新の労力を考慮し、検索性が高いものを中心にデータ化
 - (ア)大型ベッドの有無、オストメイトの有無、男女共用、男女トイレ別の幼児用設備設置の有無は必須対応
 - (イ)「あるとうれしい」ものとしてパウダーコーナーの有無も検討
 - (ウ)人によっては重要だと思われる情報については写真で対応
- イ. 基本情報については政府CIOフォーマットに施設IDを追加予定
- ウ. 設備情報については同じく、大型ベッド、オストメイト、おむつ交換台、パウダーコーナー追加、また複数の画像の格納を可能にする予定

4.意見交換

(1).参加団体B

- ア. 対象者を絞らないデータの方がよりシチュエーションにサービスを切り分けて対応可能
- イ. 各企業がデータの投入可能か、漏れはないか、信頼性を担保し安全に運用することが可能かの三点に留意しなければならない

(2).参加団体C

- ア. 地図を整備するのに取り込みやすいフォーマットを目指してほしい
- イ. 緯度・経度に基づくデータが必要である

- ウ. 利用者視点から、トイレへの経路も重要である
- エ. 車椅子利用者のニーズとして、写真があるとわかりやすいというものがある

(3). 参加団体D

- ア. サービスとしていかに活用するかを想定した上でデータを収集すべき
- イ. 情報の最終更新日は、ユーザーが情報の信頼性を判断する上で重要な項目であるため追加すべき
- ウ. データの収集は、デジタルかつUIにこだわってツールを開発し、簡略化すべき
- エ. 更新作業についてはユーザーからのフィードバック機能など、ユーザーの力を借りるサービスにすることで更新の負担も軽くなり、ユーザーも当事者意識を持って参加可能になる
- オ. IDについては無意採番にすべきである
- カ. サービス提供者のデータ活用の観点からもIDの付与は重要な論点である
- キ. エリア単位でのIDも付与すべき

(4). 参加団体E

- ア. 機能分散の流れを考慮すべき

(5). 事務局

- ア. 最終更新日についてはレコード単位で追加予定
- イ. データ収集方法の簡略化については、スマホで提携のフォームに入力するなどの方法を考えられたら良い
- ウ. エリアIDについては、同じフロアに2つ以上のトイレがある場合の附番方法についてはデータ収集を実際に実施してから議論したい

5. アイデアソン開催について、今後の予定

(1). アイデアソンについて（事務局）

- ア. データの更新方法について広くアイデア出しをすることを目的とする
- イ. オンライン開催、5名～10名程度の小グループで議論

(2). 今後の予定（事務局）

- ア. 第3回WGにてデータ収集結果の報告を実施予定
- イ. 第4回WGにて収集データを基に利活用例の提示など成果の発表を実施予定